

# スピードとばね キラリ

走り高跳び **中山さん(種子)全国2位**

8月に福島市であった全国中学校体育大会の陸上女子走り高跳びで、西之表市の種子島中2年、中山綾音さんが2位に入った。春から夏にかけて、自己記録を10センチ以上伸ばした13歳の新星。「1〜3位は全員2年生。うれしい半面、新しい目標ができた」とさらなる高みを見据える。

身長160センチ超の選手がずらりと並ぶ中、156センチと小柄な中山さんは1メートル60センチで成功し、初の全国の舞台で表彰台を射止めた。

100メートル走13秒13のスピードとばねが持ち味で、県内では将来を囑望されていた存在だった。今春、鹿児島市であった練習会に参加し、専門の県中学記録1メートル67センチを超えられるよう指導者に助走のアドバイスを受けてうにならいたい」と語った。(緒方隆)

飛躍のきっかけをつかんだという。部活指導員の岩坪陽一郎さん(49)は「素直だから何でも吸収する。高跳び指導者全員で育てている感じだ」と話す。

趣味は「高跳び」と公言する中山さん。中学から取り組む背面跳びは「踏み切りなどのコツをつかみきつていない」と言い、トップアスリートなどの動画を自宅でも世界大会などの動画を見て研究を重ねる。憧れの選手に、現役で活躍する鉄丸美由紀さん(鹿児島銀行)を挙げ「フォームがきれいな人は高く跳べる。私ももっと練習して、女子



①「初めての全国大会で新しい目標ができた」と話す中山綾音さん。②西之表市営グラウンドで表彰式でおとけたホースを取る中山綾音さん(中央)。他の選手より小柄なのが分かる。③福島市(岩坪陽一郎さん提供)